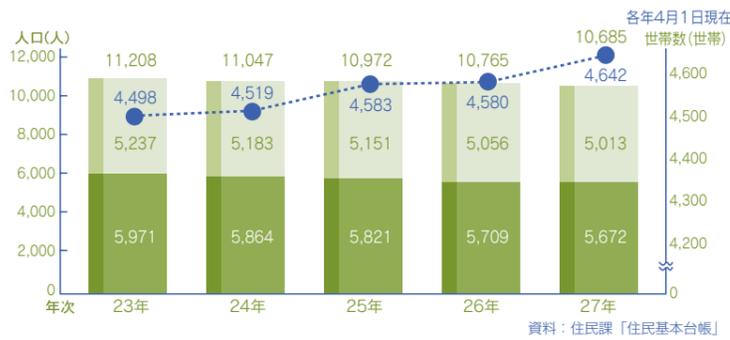


人口 人口と世帯の推移



村民生活 一人当たり村民所得

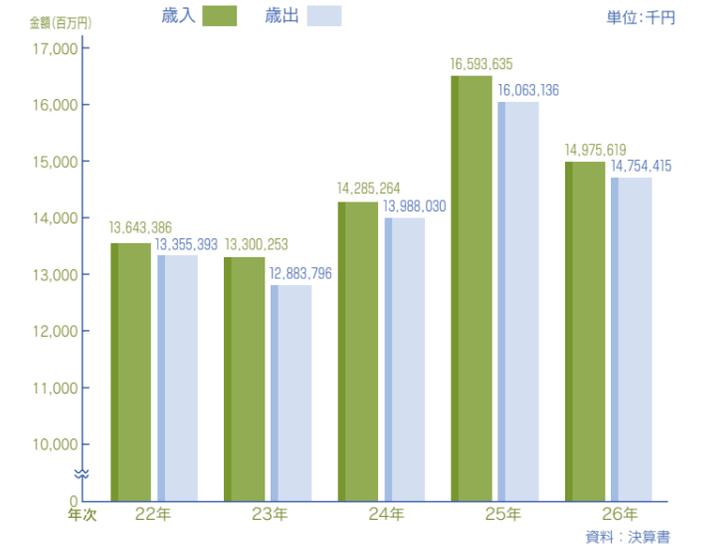
年次	1人当たり村民所得(千円)		1人当たり所得比率(%)
	村	県	
20年	9,531	2,248	423.9
21年	10,873	2,260	481.2
22年	12,355	2,333	529.5
23年	12,328	2,353	523.8
24年	13,671	2,422	564.5

資料：平成24年度市町村村民経済計算

行政 歴代村長一覧

氏名	就任期間
初代 工藤 壽平	明治22. 5.15~明治25. 5.14
2 渡部 政之助	明治25. 5.15~明治29. 5.14
3~4 菅 保次郎	明治29. 5.15~明治37.10. 1
5 高田 達也	明治37.10. 2~明治41.10. 1
6~7 渡部 泰敏	明治41.10.10~大正 4.10. 6
8 笠尾 善太郎	大正 5. 6.20~大正 9. 6.19
9 高橋 毅郎	大正10. 1.25~大正11. 2.17
10 高村 太助	大正12. 5.15~大正13. 3.21
11~12 高田 達也	大正13. 4. 5~昭和 7. 4. 4
13 高村 太助	昭和 7. 4. 5~昭和11. 4. 4
14 米田 興太郎	昭和11. 4. 5~昭和15. 4. 4
15 南 安太郎	昭和15. 4.17~昭和19. 4. 4
16 福田 富雄	昭和19. 4.17~昭和21. 1. 6
17 橋本 勝太郎	昭和21. 1. 7~昭和21.10.30
18~20 佐々木 高壽	昭和22. 4. 6~昭和34. 5. 2
21~22 沼田 正	昭和34. 5. 3~昭和41.12. 4
23 種市 栄太郎	昭和42. 1.11~昭和44.11.17
24 寺下 力三郎	昭和44.12.21~昭和48.12.19
25~28 古川 伊勢松	昭和48.12.20~平成元.12.19
29~30 土田 浩	平成元.12.20~平成 9.12.19
31~32 橋本 寿	平成 9.12.20~平成14. 5.18
33~35 古川 健治	平成14. 7. 7~平成26. 7. 6
36 戸田 衛	平成26. 7. 7~

財政 一般会計決算額



気象 気象概況

年次	気温(℃)					風速(m/s)平均	降水量(mm)			日照時間(時間数)
	平均	最高	最低	最高	最低		総量	最大日量	月日	
23年	9.4	13.4	5.8	34.2	-10.5	1.9	1,366.0	72.5	9月21日	1,602.4
24年	9.1	12.9	5.9	33.7	-12.6	1.8	1,277.5	81.5	7月16日	1,511.6
25年	9.2	13.1	5.8	32.7	-10.0	1.7	1,435.0	118.5	8月31日	1,459.2
26年	9.2	13.5	5.5	32.7	-11.6	1.5	1,420.0	95.5	8月 6日	1,751.2
27年	10.1	14.2	6.5	31.9	-9.3	1.6	1,179.0	47.5	9月11日	1,638.1

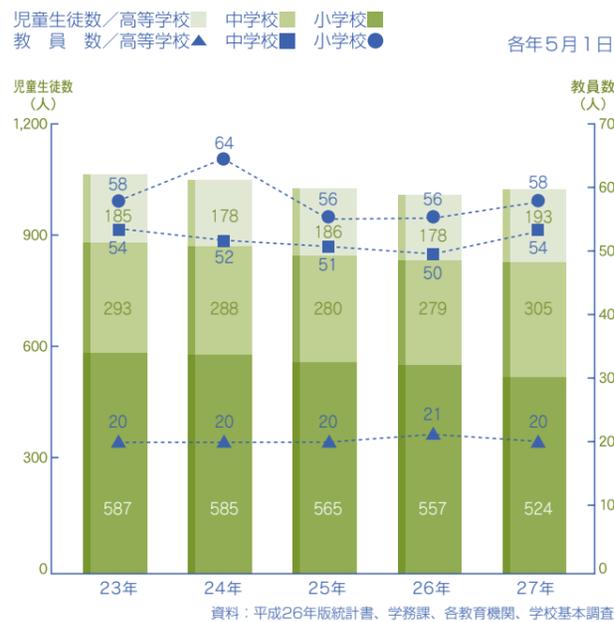
資料：国土交通省 気象庁

農作物 農作物の作付面積および収穫量

区分	22年	23年	24年	25年	26年	
水稲	作付面積(ha)	122	119	114	109	101
	10a当収量(kg)	525	534	530	509	544
	収穫量(t)	641	635	604	555	549
豆类	作付面積(ha)	-	(大豆)2	(大豆)1	(大豆)1	×
	収穫量(t)	-	(大豆)2	(大豆)1	(大豆)1	×
麦類	作付面積(ha)	-	-	-	-	-
	収穫量(t)	-	-	-	-	-
飼料作物	作付面積(ha)	-	-	-	-	-
	収穫量(t)	-	-	-	-	-
野菜類	作付面積(ha)	-	304	285	294	278
	収穫量(t)	-	11,564	9,322	9,783	9,530

資料：農作物統計、園芸作物統計、野菜・果樹統計

教育 児童生徒数および教員数



漁業 魚種別漁獲量(属地)

区分	22年	23年	24年	25年	26年
魚類	656.0	916.9	792.0	772.7	940.4
さば、ぶり、さけ等					
貝類	0.5	0.6	1.1	0.3	0.0
あわび、ほっきがい等					
その他の水産動物	2605.3	3080.0	3071.1	2110.8	2098.2
するめいか、やりいか、たこ等					
藻類	128.1	149.7	464.3	0.0	0.0
こんぶ等					
漁獲量	3389.9	4147.2	4328.5	2883.8	3038.6

資料：青森県海面漁業に関する調査報告書

文化 六ヶ所村の文化財

名称	指定区分	指定年月日	数量	所有者・代表者	集落
泊のまるきぶね	国指定重要有形民俗文化財	1963(昭和38年).5.15	1隻	県立郷土館	泊
	大正12(1923)年頃、泊の三角久松氏が戸の棚沢山のブナの木で作らせた。本州太平洋岸の丸木舟としては最北。				
大石平遺跡出土品	国指定重要文化財(考古資料)	1995(昭和7年).6.15	一括(198個)	青森県埋蔵文化財調査センター	大石平
	縄文後期の集落とともに巨大木柱跡が発見された遺跡。赤漆切断彩色壺型蓋付土器や手形・足形付製品。				
オジロワシ	国指定天然記念物(動物)	1970(昭和45年).1.23	-	-	地域を定めずに指定
	湖や川岸・森に生息し、小川原湖や湖沼群のウグイなどを餌にする。尾駁沼に最も多く、湖沼群全体の個体数はおよそ20。村の鳥。				
小川原湖のハクチョウ	県指定天然記念物(動物)	1972(昭和47年).12.5	-	-	小川原湖北端
	小川原湖にはオオハクチョウ・コハクチョウの両種が飛来する。カムチャッカから来るものと、サハリンから来るものがある。				
貴宝の神楽舞	村指定無形文化財(芸能)	1974(昭和49年).3.29	-	辻浦英朗	泊
	貴宝山神社の神事で舞われる神楽。舞い手・舞い・楽は「諏訪の神楽」と同じ「泊神楽」。獅子神楽のうち太神楽に分類される。				
諏訪の神楽舞	村指定無形文化財(芸能)	1974(昭和49年).3.29	-	辻浦英朗	泊
	諏訪神社の神事で舞われる。舞い手・舞い・楽は「貴宝の神楽」と同じ「泊神楽」。獅子神楽のうち太神楽に分類される。				
新山権現	村指定無形文化財(芸能)	1985(昭和60年).12.21	-	佐藤石五郎	千歳平・新城平
	大正5年に甲地(現東北町)より置った新納屋集落の獅子舞が、むつ小川原開発に伴う集団移転で名称を変え復活したもの。				
大乗寺のいちい	村指定天然記念物(樹木)	1974(昭和49年).3.29	1本	大乗寺	泊
	樹齢300年を超える古木で、落雷により枝が損傷しているが、その緑は絶えることがない。				
千歳中学校のしなの木	村指定天然記念物(樹木)	1974(昭和49年).3.29	2本	千歳中学校	千歳
	指定所には「3本」と記載されているが、1本は外見上は2本でも根本でつながっている巨木。「菩提樹」と呼ばれ親しまれている。				
能登七右衛門文書	村指定有形文化財(古文書)	1974(昭和49年).3.29	9件	能登鉄太郎	泊
	宝暦4(1754)年、七戸代官所が泊港で取引される諸品の役銭を定めたもの。当時の上方との物流の様子がわかる。				
秋忠文書	村指定有形文化財(古文書)	1979(昭和54年).3.12	2件	種市忠敏	泊
	貴宝山をめぐる縁起や霊場争いの顛末などについて記されたもの。豊かなヒバ山をめぐる文書もある。				
木村文書	村指定有形文化財(古文書)	1979(昭和54年).5.30	1件	木村毅	倉内
	寛文12(1672)年に有戸の御守別当となった木村家に伝わる文書。各集落の地名の由来についての言い伝えも書かれている。				

資料：社会教育課

# 六ヶ所村歴史年表

802	延暦21	泊の諏訪神社が建立。
951	天曆 5	後撰和歌集に「尾駁の駒」の名が出てくる。
1086	応徳 3	後拾遺和歌集に「尾駁の駒」の名が出てくる。
1213	建保元	古歌で詠われた尾駁の牧が再興、蟻渡野と改称。
1583	天正11	泊の大乗寺が開山。
1645	寛永21・8・2	泊の中山崎に船の遠見番所が設置される。
1667	寛文 7・2・18	南部藩が海運についての高札を泊、平沼に建立。(関)
1673	延宝元・9・11	南部藩、陸奥運河開削のため藩士派遣。実地調査と測量を実施。
1682	天和 2・9・29	平沼の平安寺が開山。
1727	享保12・5・28	七戸代官所が尾駁ニシンに十匹一文の税金を課す。
1801	享和元・10・13	伊能忠敬が測量のため平沼から泊海岸をまわる。
1804	文化元・3・1	南部16ヶ所港として北郡泊湊が記される。
1876	明治 9・4・15	泊小学校創立。
1877	明治 9・9・18	野辺地警察署の泊分署が設置される。
1878	明治10・10・1	平沼小学校創立。(平成25年倉内小学校と統合)
	明治11	表館牧場(ひばり牧場)が開設される。
	明治11・3・6	倉内小学校創立。(平成25年平沼小学校と統合)
	明治11・8・4	尾駁小学校創立。
1879	明治12・1・14	平沼ほかちか村の戸長役場を平沼に設置。
	明治12・1・28	選番場が倉内の七鞍平に設置される。
1880	明治13	鷹架小学校創立。(昭和52年廃校)
1881	明治14・8・1	泊村郵便局開設。
1888	明治21・4・1	平沼郵便局開設。
1889	明治22・4・1	町村制施行により、倉内、平沼、鷹架、尾駁、出戸、泊の6ヶ村を統一して六ヶ所村となり、役場を平沼に置く。
1898	明治31・10・15	戸鎖小学校創立。(平成22年尾駁小学校へ統合)
1900	明治33・4	二又小学校創立。(平成16年尾駁小学校へ統合)
1903	明治36・3・24	泊漁業組合設立。
	明治36・4・15	出戸小学校創立。(昭和39年尾駁小学校へ統合)
	明治36・5・29	六ヶ所漁協組合設立。
1907	明治40	軍馬の放牧場が倉内に設置される。
1908	明治41・4	倉内信用組合設立。
	明治41・9	平沼信用組合設立。
1910	明治43・2・3	六ヶ所村漁業会設立。
1911	明治44・4	中志小学校創立。(平成18年平沼小学校へ統合)
1920	大正 9・5	役場を平沼から尾駁に移転。
1926	大正15・10・18	普選法施行県第一号の村議選が本村で行われる。
1928	昭和 3・5・1	尾駁郵便取扱所開設。
1932	昭和 7・7	泊～白糠(東通村)間の道路開通。
	昭和 7・11・10	笹原小学校創立。(平成12年千歳平小学校へ統合)
1940	昭和15・4・18	役場が全焼。
	昭和15・10・5	役場新築落成。
	昭和15・11・30	弥栄平小学校創立。(昭和37年上弥栄小学校へ統合)
1945	昭和20・7・15	米艦戦機の銃撃により出戸で男性1名、平沼で女性1名、倉内で男性1人死亡。米潜水艦の雷撃により泊で女性1人死亡。
	昭和20・8・9	米艦戦機の爆撃で鷹架小学校1教室が壊れ、民家13戸焼失、二又住民2人死亡(男女)住家焼失。
	昭和20・8・10	米軍の爆撃による尾駁大火。21世帯焼失。
1946	昭和21・5・2	千歳地区に開拓者入植。
1947	昭和22・4・4	尾駁中学校創立。(昭和38年より第一中学校)
	昭和22・4・11	千歳小学校創立。(昭和52年千歳平小学校へ統合)
	昭和22・4・21	戸鎖中学校創立。(昭和24年室ノ久保中学校と改称。平成18年第一中学校へ統合)
	昭和22・4・22	泊中学校創立。
	昭和22・4・28	弥栄平入植式。
	昭和22・5・21	倉内中学校創立。(平成8年より第二中学校)
	昭和22・9・1	鷹架中学校創立。(昭和38年より第一中学校)
1948	昭和23・9	平沼中学校創立。(平成8年より第二中学校)
	昭和23・12・1	出戸小学校石川分校創立。(昭和41年廃校)
1949	昭和24・4・1	上弥栄小学校創立。(昭和54年尾駁小学校へ統合)
	昭和24・9・8	六ヶ所村海水漁業協同組合設立。
1950	昭和25・7・5	出戸中学校創立。(昭和39年第一中学校へ統合)
	昭和25・12	中志中学校創立。(平成8年より第二中学校)
1951	昭和26・7・10	泊港が漁港(第1種)に指定。
1952	昭和27・4・1	千歳中学校創立。
	昭和27・4・1	二又中学校創立。(昭和39年第一中学校へ統合)
	昭和27・11・1	村教育委員会発足。
1954	昭和29・1・20	千歳小学校豊原分校創立。(昭和42年廃校)

	昭和29・11・3	弥栄平中学校創立。(昭和45年第一中学校へ統合)
1955	昭和30・10・15	平沼の港が漁港(第1種)に指定。
	昭和30・10・21	各地区で簡易水道の整備を開始。
1959	昭和34・3・31	村連合PTA結成。
	昭和34・6・22	陸上自衛隊臨時対空射場(演習場)設立。
	昭和34・7・26	下北バス株式会社の泊線開通。
1961	昭和36・6・13	尾駁海岸で東大の第一次ロケット本実験実施。18日2号機打上に成功。
	昭和36・12・17	平沼診療所が焼失。
1962	昭和37・1・12	泊の丸木舟が県文化財に指定。
	昭和37・8・6	村公民間報(わかくさ)を創刊。
1963	昭和38・5・15	泊の丸木舟が国の重要有形民俗文化財に指定。
	昭和38・9・11	野辺地警察署平沼駐在所新庁舎完成。
	昭和38・9・30	鷹架・尾駁中学校を統合して第一中学校創立。
	昭和38・12・2	野辺地警察署尾駁駐在所新庁舎完成。
1964	昭和39・4・1	村母子健康センター開設。
	昭和39・10・20	泊駐在所新庁舎完成。
1968	昭和43・10・1	泊保育所開設。
1969	昭和44・1・11	白糠(焼山)泊 漁港が第4種漁港(避難港)に指定。
	昭和44・3・20	平沼地区学習等共用センター完成。
1970	昭和45・3・20	倉内地区学習等共用センター完成。
1971	昭和46・3・20	尾駁診療所開設。
1973	昭和48・1・20	泊公民館完成。
	昭和48・5・15	出戸公民館完成。
	昭和48・11・2	新納屋集会所完成。
1974	昭和49・3・31	役場新庁舎完成。
	昭和49・6・1	野辺地・平内地区消防事務組合野辺地消防署六ヶ所分署設立。
1975	昭和50・3・19	六ヶ所電報電話局開局。(電話がダイヤル化)
	昭和50・4・1	県道八戸・むつ線、国道に昇格。(338号)
	昭和50・4・1	倉内・尾駁両保育所開設。
	昭和50・7・19	平沼地区水泳プール完成。
1976	昭和51・1・20	共同ゴミ処理場が完成(2町1村)火力式行われる。
	昭和51・8・25	八森入植20周年記念碑除幕式。
	昭和51・11・30	役場庁舎、尾駁保育所、尾駁小学校講堂、中央公民館合同落成式。
1977	昭和52・4・1	千歳平診療所開設。
	昭和52・4・1	千歳平保育所開設。
	昭和52・4・1	千歳平小学校創立。
	昭和52・4・1	千歳平汚水終末処理場供用開始。
1978	昭和52・5・22	庄内入植30周年記念碑除幕式。
	昭和53・3・20	千歳地区学習等共用センター完成。
	昭和53・3・30	尾駁地区漁民研修センター完成。
	昭和53・4・1	平沼保育所開設。出戸、二又へき地保育所開設。
	昭和53・4・8	県立六ヶ所高校創立。
	昭和53・6・10	都市計画区域を決定告示。
	昭和53・11・20	村商工会館完成。
1979	昭和54・2・20	平沼漁民研修センター完成。
	昭和54・4・1	戸鎖保育所開設。
	昭和54・5・8	市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の決定告示。
	昭和54・7・4	千歳平墓地公園完成。
	昭和54・8・27	国営吹越台地開拓建設事業起工。
	昭和54・9・8	鷹架閉村式。300年の歴史を閉じる。
	昭和54・10・26	弥栄平閉村式。
1980	昭和55・3・20	尾駁地区学習等共用センター完成。
	昭和55・3・25	長芋貯蔵施設完成。
	昭和55・4・1	野辺地警察署尾駁駐在所が派出所に昇格。
	昭和55・4・15	千歳平神社が完成。
	昭和55・7・23	むつ小川原港湾起工。
	昭和55・7・31	泊漁港覚書協定締結。
	昭和55・10・14	県立六ヶ所高校全校舎完成、落成式典。
	昭和55・11・3	村民憲章、村の花「ニコウキスゲ」村の鳥「オジロワシ」村の木「黒松」制定。
1981	昭和56・3・20	アヰビ種苗供給センター完成。
	昭和56・4・1	泊第二保育所開設。
	昭和56・4・21	都市計画道路決定。
	昭和56・10・13	総合体育館起工式。
1982	昭和57・2・20	泊地区漁民研修センター完成。
	昭和57・3・25	村立酪農会館完成。

	昭和57・4・1	野辺地・平内地区消防事務組合六ヶ所分署が六ヶ所消防署となる。
	昭和57・7・1	泊地区に移転した陸上自衛隊六ヶ所対空射撃場開所式。
	昭和57・7・5	アヰビ種苗供給センターで中間育成した稚貝1万6千個を初放流。
	昭和57・9・10	学校給食センター完成。
1983	昭和58・3・18	老人福祉センター完成。
	昭和58・3・20	六ヶ所村観光協会設立。
	昭和58・5・14	第1回六ヶ所春まつりが大石総合運動公園で開催。
1984	昭和59・1・10	第1回民俗芸能発表会が尾駁小学校講堂で開催。
	昭和59・5・30	村民憲章推進協議会の設立総会開催。
1985	昭和60・4・1	広報「ろっかしょ」創刊。
	昭和60・4・15	千歳平10周年記念式典開催。
	昭和60・4・20	村の物産第1号「ウニようかん」誕生。
	昭和60・10・26	六ヶ所原燃PRセンターオープン。
1986	昭和61・2・13	大石平遺跡から約4千年前の幼児の手形土板大小2種類が出土。手形は日本初。
	昭和61・3・15	六原入植30周年記念式典開催。
	昭和61・4・1	尾駁診療所・保健相談センター完成。
	昭和61・7・9	役場泊支所が完成。
	昭和61・11・19	尾駁浜漁船船だまり完成。
1987	昭和62・3・30	社団法人六ヶ所村畜産公社設立。
	昭和62・5・22	庄内入植40周年記念式典開催。
	昭和62・6・13	第1回「たのしむべ!フェスティバル」が大石総合運動公園で開催。
	昭和62・8・5	第1回六ヶ所村社会福祉大会及び社協法人化10周年記念式典開催。
	昭和62・9・1	表館遺跡から隆起線土器が出土。
	昭和62・9・2	村総合振興計画基本構想策定。
	昭和62・10・29	第1回泊芸能祭開催。
1989	平成元・4・9	核燃阻止で1万人が六ヶ所村で全国集会を行う。
	平成元・8・27	村制施行百周年記念式典開催。
	平成元・12・17	村観光マスコット、キャッチフレーズ決定。
1990	平成 2・3・20	簡易水道事業を統合し、六ヶ所村上水道事業となる。
1991	平成 3・3・22	富ノ沢遺跡から日本最大規模の竪穴式住居跡が発見。
	平成 3・8・3	村立郷土館がオープン。
	平成 3・8・19	県南地方で水稲に不稔障害、村が冷害対策本部を設置。
1992	平成 4・3・25	村立郷土館隣に「ふれあいの里」が完成。
	平成 4・4・1	長芋焼酎「六趣」が村内の店頭で販売開始。
	平成 4・7・7	泊地区でイカ釣り体験ツアーを本格的に開始。
	平成 4・9・10	「スポーツの村・六ヶ所」を宣言。
	平成 4・10・18	第1回「湖畔の収穫祭」が中志地区で開催。
1993	平成 5・3・25	倉内地区に小川原湖資料館がオープン。
	平成 5・4・1	尾駁診療所が入院施設を完備。
	平成 5・4・1	七戸町～むつ市間が国道394号に編入。
	平成 5・9・21	郷土館など15の公共施設の合同落成式典開催。
	平成 5・12・31	富ノ沢遺跡から国内最古のゴマ・ヒエが出土。
1994	平成 6・4・22	ヴァーレン市(ドイツ)と友好都市協定を締結。
	平成 6・8・1	各地区で順次農業集落排水処理施設の供用を開始。
	平成 6・11・23	白糠(焼山)漁港に防波堤壁画の一部が完成。
1995	平成 7・4・1	特別老人ホーム「ぼんてん荘」が開設。
	平成 7・4・1	一般廃棄物最終処分場が使用開始。
	平成 7・4・1	六ヶ所村農協、東北町農協、馬門農協が合併し、とうほく農協となる。
	平成 7・10・1	千歳誕生50周年記念式典開催。
	平成 7・11・15	村初の総合防災訓練を実施。
	平成 7・12・15	ショッピングモール「REEV(リーブ)」オープン。
1996	平成 8・1・29	村行政改革大綱策定。
	平成 8・4・1	倉内・平沼・中志中学校を統合して第二中学校創立。
	平成 8・4・1	障害者支援施設「かけはし寮」開設。
1997	平成 9・4・1	村文化交流プラザ「スワニー」開館。
	平成 9・5・22	村民図書館開館。
	平成 9・7・1	庄内入植50周年記念式典。
	平成 9・7・1	六ヶ所村史完成。
	平成 9・12・7	村で初の公共下水道(北部処理区)工事着工。
1998	平成10・4・1	清掃センター「クリーンベア・はまなす」供用開始。
	平成10・10・28	韓国襄陽郡との交流始まる。
1999	平成11・4・1	馬門川観光公園開設。
2000	平成12・4・1	地域交流ホーム開設。
	平成12・4・1	公立戸鎖保育所、倉内保育所がへき地化。

	平成12・4・1	六ヶ所消防署南分署が完成、業務開始。
2001	平成13・7・28	「第16回海の祭典」がむつ小川原港で開催。
	平成13・8・10	戦没者追悼式を村文化交流プラザにて開催。
	平成13・10・25	村内小中学生による模擬議会が村役場議場にて開催。
	平成13・11・8	村長選に立候補を表明した2氏による村初となる公開討論会が村文化交流プラザで開催。
2002	平成14・4・1	国内初のバリアフリー型放射線・行政情報伝達システム(防災テレビ)を整備し、運用開始。
2003	平成15・4・1	日帰り温泉館「ろっかぽっか」が鷹架地区にオープン。
	平成15・4・1	(社)六ヶ所村農業総合公社業務開始。
	平成15・4・1	村高齢者生活福祉センター開設。
2004	平成16・4・1	内子内農山村広場が鷹架地区に開設。
	平成16・4・1	泊地区イベント広場開設。
	平成16・4・1	二又小学校校舎を新たに「二又夢はぐ館」とする。
	平成16・11・22	泊小学校入校式。新校舎での授業開始。
2005	平成17・3・12	第1回六ヶ所村異文化交流フェア開催。
	平成17・4・1	尾駁沼湖畔に野鳥観察公園が開設。
	平成17・11・3	村民憲章が改定。
2006	平成18・3・1	尾駁浜漁船船だまりに水産物荷捌・加工等施設が完成。
	平成18・4・25	六趣醸造工房蔵開き記念式典開催。
	平成18・11・6	六ヶ所村産の長芋焼酎「六趣」を初蔵出し。
2007	平成19・3・28	白糠(焼山)漁港に新荷捌施設が完成。
	平成19・5・21	倉内小学校が耐震不足により閉鎖され、第二中学校で間借り授業開始。
	平成19・7・20	尾駁レイクタウン北地区の宅地分譲を開始。
	平成19・10・25	ショッピングモール「リーブ」内に国際交流ラウンジを設置。
2008	平成20・3・11	倉内小学校がプレハブの新校舎で授業開始。
	平成20・5・10	襄陽郡副郡守一行(20名)が友好交流10周年記念植樹と「たのしむべ!フェスティバル」に参加。
	平成20・6・3	「六ヶ所村次世代エネルギーパーク」が東北地区で初めて経済産業省から認定を受ける。
	平成20・6・28	村営塾「VILLAGEアカデミー」開講式。
	平成20・9・3	京都インターナショナルスクール青森キャンパス開設。第一中学校3階に開校。
2009	平成21・10・6	友好都市締結15周年を記念し、議長、国際交流課長及びドイツ国際交流員がヴァーレン市を訪問。
	平成21・11・18	村制施行120周年記念式典が村文化交流プラザで開催。
2010	平成22・4・1	国際教育研修センターが開設。(センター内にインターナショナルスクールを開設)
	平成22・4・5	泊安在所開所式。
	平成22・4・8	泊地区ふれあいセンター開所式。
	平成22・5・10	東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター六ヶ所村分室開所式。
	平成22・5・22	六ヶ所村次世代エネルギーパーク開業。(東北初)
	平成22・9・30	「第15回全国風サミットinろっかしょ」が村文化交流プラザで開催。
2011	平成23・3・11	東日本大震災が発生。施設の破損や3日間に渡る村内全域停電などの被害を受ける。また、大震災に伴う大津波により約10数隻の漁船が被害を受ける。
	平成23・4・7	尾駁小学校新校舎での授業開始。
	平成23・6・22	村が東日本大震災の被災者に復旧・復興支援のため「被災証明書」を発行。
	平成23・7・1	「六ヶ所村テレビ」の試験放送を開始。
	平成23・10・11	村と村内企業などの5者が「災害時における応急対策業務に関する協定」など3つの協定を締結。
2012	平成24・10・4	十和田市・三沢市の共同中心市と六ヶ所村を含む8関係町村が「上十三・十和田湖広域定住自立圏」協定を締結。
2013	平成25・4・1	平沼倉内小学校が統合し、南小学校が創立。
	平成25・9・27	六ヶ所村商工会50周年、村観光協会30周年合同記念式典。
2014	平成26・5・9	長芋洗浄選別貯蔵施設完成記念式典。
	平成26・8・1	六ヶ所村医療センターが開設。
2015	平成27・4・1	幼保連携型認定こども園「おぶちこども園」が開設。